平成２１年度第２回山口県教育振興推進会議

協 議 資 料 1

「新学習指導要領実施上の手引き」骨子について（案）

～小・中学校～

平成２１年９月１６日

山口県教育委員会

□　手引き作成の経緯

教育基本法等の改正、学習指導要領の改訂を本県の教育改革の絶好の機会ととらえ、本県教育の方向性を新たに示し、課題解決に取り組む。

そこで、新しい学習指導要領をふまえ、現行学習指導要領の総括を行う中で明らかになった本県教育課題の解決に向け、本県らしい教育を推進するための基軸を明確にし、取り組むこととした。

1　新学習指導要領実施上の手引きについて

（1）目　的

新しい学習指導要領をふまえ、県内全ての教職員が、山口県教育の実現に向けて、共通の視点をもち協同歩調で取り組む。

（2）内　容

第１章　山口県教育の推進　全６Ｐ

はじめに

１　基本的な考え方

・本県教育の目標と子どもにめざす力

・山口県らしい教育を実現するための教育活動

２　山口県らしい教育の推進に当たっての３つの基軸

- キャリア教育の推進
- コミュニケーション能力を育む教育の推進
- 地域や伝統・文化をふまえた教育の推進

３　連携と協働

別冊（ふるさと）『これが私の故里だ』山口県伝統・文化教材集

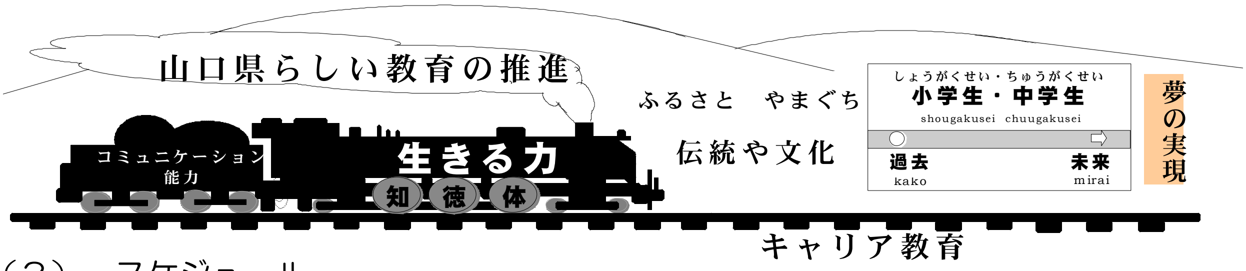
家庭での指針（リーフレット）

第２章　各教科、領域の改訂・授業改善のポイント及び実践例　各４Ｐ

・各教科、領域の改訂のポイント（目標、内容、内容の取扱い）

・新学習指導要領の趣旨や内容に対応した授業改善のポイント及び実践例

・山口県らしい教育の視点による授業改善のポイント及び実践例



（3）　スケジュール

年度　　月	21　4　6　8　10　12　2	22　4　6　8　10　12　2
・新学習指導要領実施上の手引き	骨子作成　学校へ配付（意見聴取）　実践事例を各学校から収集	学校へ配付（意見聴取）　完成配布
・山口県伝統・文化教材集	教材収集　作成委員選出　原案作成	原案配布（意見聴取）　完成配布
・家庭での指針	原案作成　県ＰＴＡ・関係教育団体との協議	完成　家庭へ配布　啓発・普及

２　新学習指導要領をふまえた山口県教育の推進

（１） 本県教育の目標と子どもにめざす力

■　本県教育の目標・・・「一人ひとりの夢の実現」

・子どもたち「一人ひとり」をかけがえのない存在として大切にし、その個性を生かし、可能性を伸ばす教育が重要
・「夢」とは、目標や志 など
・「夢」は、子どもたち自らが「実現」（自己実現）するものであり、学校・家庭・地域社会は、その実現に向け生きる力を育み、支援していく。

一人ひとりの夢の実現

生きる力の育成

知

○学力の向上
・基礎的・基本的な知識・技能
・活用する力
・学習への関心・意欲

徳

○豊かな心の育成
・命を大切にする心
・思いやりの心
・規範意識、基本的な倫理観

体

○体力の向上
・「走・跳・投」の基礎的体力
・競技力
・望ましい生活リズム

連　携　と　協　働

○学校、家庭、地域社会が一体となった教育の推進
・開かれた学校づくり
・学校、家庭、地域社会の役割分担
○幼保小中高の連携
・学びの連続性をふまえた指導の充実

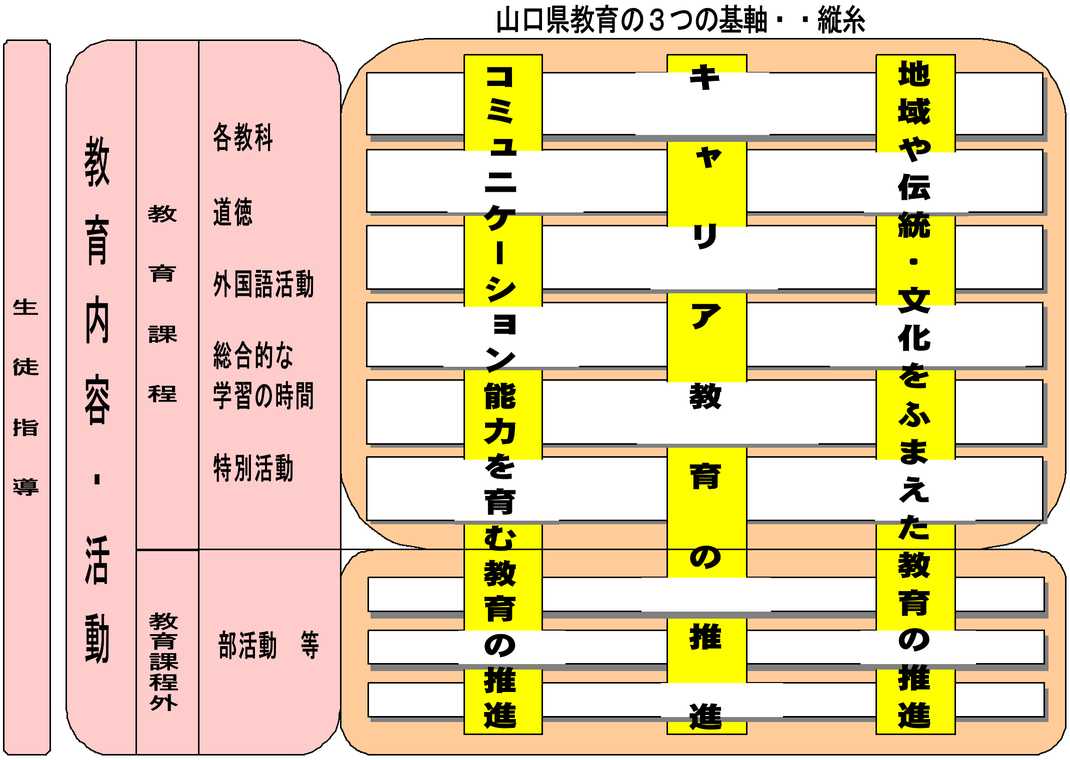
新学習指導要領：生きる力

―知･徳･体のバランスのとれた力

○　基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、さまざまな問題に積極的に対応し、解決する力
○　自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
○　たくましく生きるための健康や体力　　など

（２）　山口県らしい教育を実現するための教育活動

【教育内容・活動等と３つの基軸との関連】



新学習指導要領：教育内容の主な改善事項

言語活動・理数教育・伝統や文化に関する教育・道徳教育・体験活動・外国語教育の充実、
社会の変化への対応の観点から教科等を横断して改善すべき事項

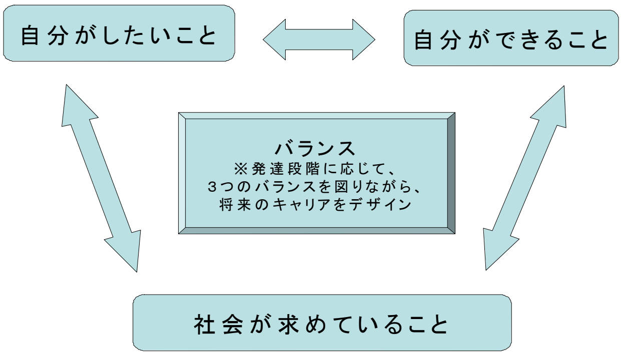
（３）　山口県らしい教育の推進に当たっての３つの基軸

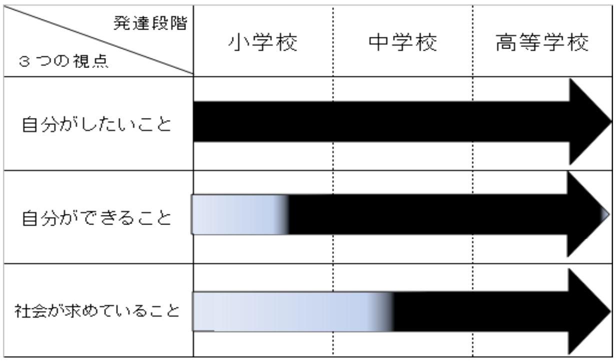
1　キャリア教育の推進

夢や目標をもち、将来、一人の社会人として自立できるよう、自分にふさわしい生き方を実現していこうとする意欲・態度や能力の育成

3つのねらい：社会的自立の支援　／　勤労観、職業観の育成　／　生きる力(知･徳･体)の育成

【発達段階に応じたキャリア教育推進の視点】

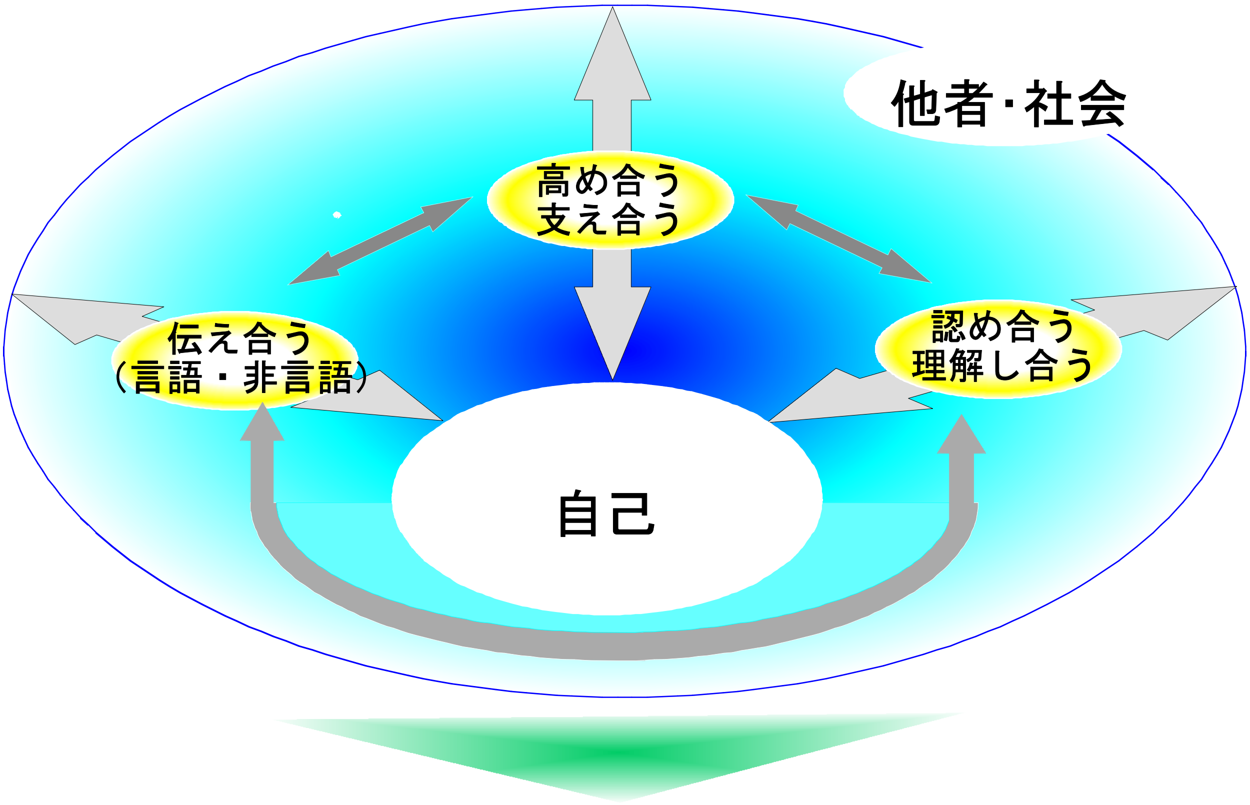




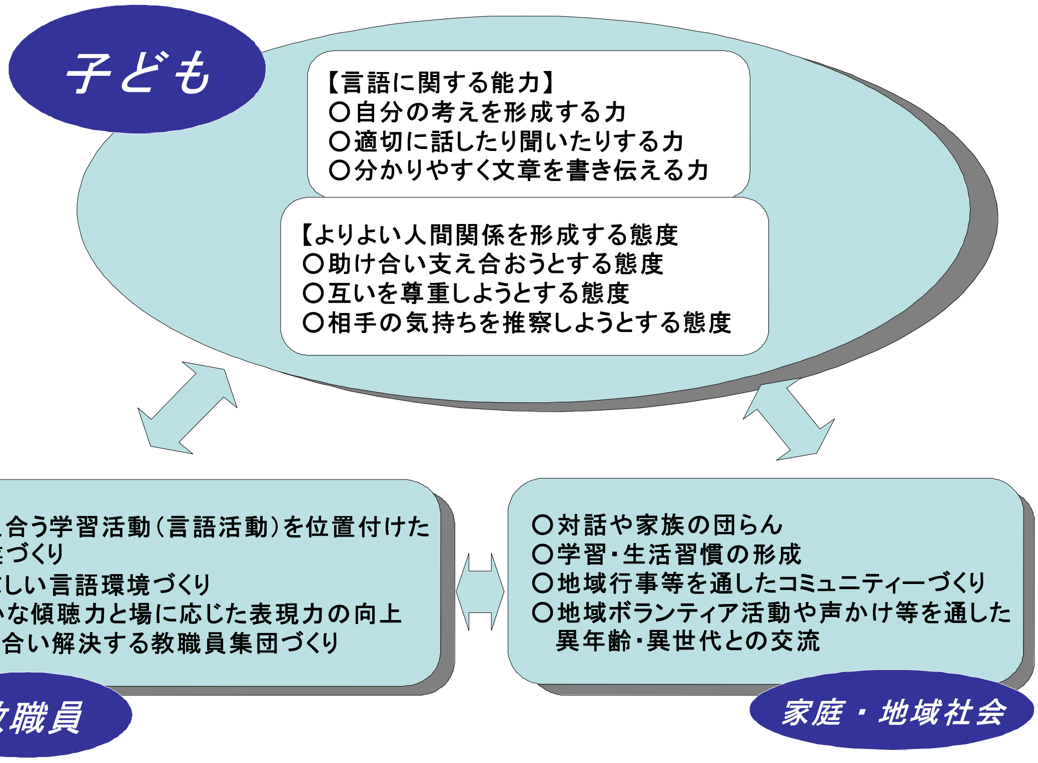
2 コミュニケーション能力を育む教育の推進

他者や社会とのかかわりを通して、自他を尊重し、認め合い高め合う力の育成

【他者・社会とのかかわりの視点】



【コミュニケーション能力育成の視点】



3 地域や伝統・文化をふまえた教育の推進

ふるさとに誇りと愛着をもち、自らの生き方をみつけようとする態度の育成

【地域や伝統・文化をふまえた教育推進の視点】

新学習指導要領における「伝統や文化に関する教育」に関する内容

	小学校	中学校
総則	道徳教育において「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図る」ことを新たに規定	
国語科	ことわざ、故事成語、神話、伝承、古文・漢文の音読など、小学校段階から伝統的な言語文化に関する指導を位置付けるとともに、物語や詩、伝記などを読む言語活動を例示	
社会科	文化遺産や縄文時代の学習	かな文字の成立などの歴史学習
生活科	地域の行事など（伝統行事、伝承遊び）にかかわる活動を行うことを想定	
音楽科	和楽器音楽に関する鑑賞指導	我が国で親しまれてきた「赤とんぼ」「荒城の月」などの曲を具体的に規定。民謡、長唄などわが国の伝統的な歌唱の指導など邦楽の指導を充実
図画工作科、美術科		我が国の美術文化に関する鑑賞指導を充実
家庭科、技術・家庭科	米飯やみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることの理解	地域の食文化の理解、和服の基本的な着方などに関する指導を充実
体育科、保健体育科		１・２学年で武道を必修化
道徳	先人の伝記、伝統と文化などを題材とした児童生徒が感動を覚える魅力的な教材活用を推進	
総合的な学習の時間	学校の実態に応じて、地域の人々の暮らし、伝統と文化など、地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動を行うことを規定	
特別活動	学校行事（文化的行事）において、文化や芸術に親しむ活動を行うことを規定	

＜中央教育審議会答申から＞

「これが私の故里(ふるさと)だ」～山口県伝統・文化教材集～

過去

■ 知る
- ・探る
- ・究める

現在

■ 生かす・創る
- ・触れる
- ・体験する
- ・親しむ
- ・創造する

未来

■ 継承・発展する
- ・伝える
- ・育てる

○ 自己を見つめ、自らの生き方をみつける

○ 将来への希望や夢を抱く

○ ふるさとに誇りと愛着をもとうとする心を育てる

○ 人間としての教養の基盤を身に付ける

中学校　数　学

１「目標」

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学の［新たな改善事項］活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

ここがポイント！

(1) 数学的活動の楽しさや**数学のよさを実感する**ことができるようにすること
(2) 事象を数理的に考察し**表現する**能力を高めること
(3) **活用して考えたり判断したりしようとする**態度を育てること

２「内容」

新たな改善事項

反復（スパイラル）による教育課程の編成

A　数と式	【確定した事象】【静的な事象】
B　図　形	【確定した事象】【静的な事象】
C　関　数	【確定した事象】【動的な事象】
D　資料の活用	【不確定な事象】
数学的活動	

ここがポイント！

「数と式」「図形」「数量関係」の３領域から、４領域になった。「数量関係」が「関数」と「資料の活用」に分かれた。

◎**数学的活動とは**

生徒が目的意識をもって主体的に取り組む数学にかかわりのある様々な営みである。
ア　数や図形の性質などを見いだす活動
イ　数学を利用する活動
ウ　数学的な表現を用いて説明し伝え合う活動

	第１学年	第２，３学年
ア	既習の数学を基にして，数や図形の性質などを見いだす活動	既習の数学を基にして，数や図形の性質などを見いだし，発展させる活動
イ	日常生活で，数学を利用する活動	日常生活や社会で，数学を利用する活動
ウ	数学的な表現を用いて，自分なりに説明し伝え合う活動	数学的な表現を用いて，根拠を明らかにし筋道立てて説明し伝え合う活動

ここがポイント！

・数学的活動を通した指導は、各領域において行う必要がある。
・１時間の授業の中にア～ウの活動が必ず位置付けられることを求めるものではない。
・「観察、操作や実験などの活動」は、必ずしも数学的活動になるわけではない。
・教師の説明を一方的に聞くだけの学習や、単なる計算練習を行うだけの学習などは数学的活動に含まれない。

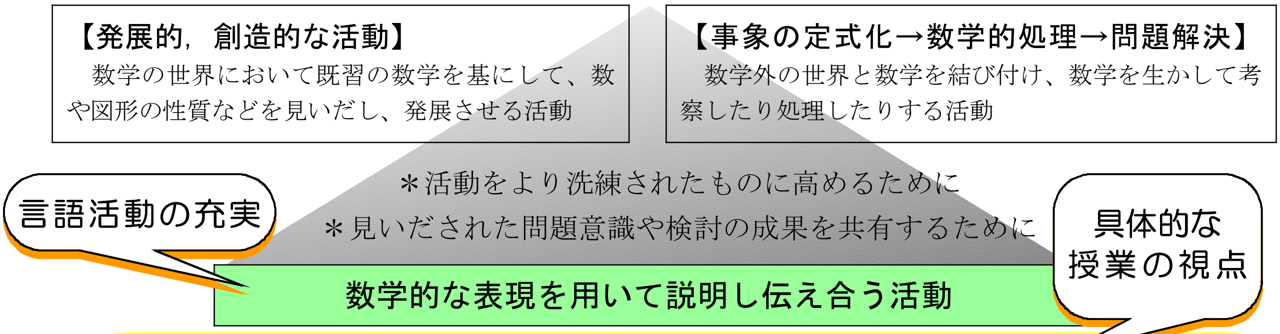
新たな改善事項

３「指導計画の作成と内容の取扱い」における留意事項

(1)　既に指導した関連する内容を意図的に再度取り上げ、**学び直しの機会を設定**する
(2)　道徳教育の目標に基づき、**道徳の時間などとの関連を考慮**する
(3)　**コンピュータや情報通信ネットワークなどを適切に活用**し、学習の効果を高める

4　新学習指導要領の趣旨や内容に対応した授業改善

(1)　数学科の授業における「数学的活動」の一層の充実



ここがポイント！

「活動あれども学びなし」といった授業にならないように、学習目標を明確にして学習内容に相応しい活動を計画する必要がある。

(2)　数学的活動の指導に当たっての留意点

①　数学的活動を楽しめるようにするとともに、数学を学習することの意義や数学の必要性などを実感する機会を設ける。

②　自ら課題を見いだし、解決するための構想を立て、実践し、その結果を評価・改善する機会を設ける。

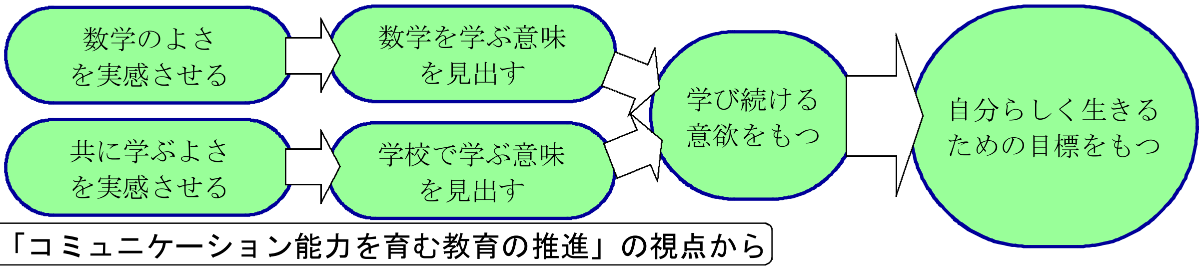
③　数学的活動の過程を振り返り、レポートにまとめ発表することなどを通して、その成果を共有する機会を設ける。

山口県らしい教育の３つの基軸と教科・領域との関連

5 「山口県らしい教育」の視点による授業改善

(1)「キャリア教育の推進」の視点から

学ぶ過程を振り返る活動を通して、「数学のよさ」や「共に学ぶよさ」を実感する



(2)「コミュニケーション能力を育む教育の推進」の視点から

①　自らの意見（見方や考え方）をもつことのできる課題を設定
②　各自の意見（見方や考え方）を出し合い、比較・検討する活動を設定
③　他者の意見（見方や考え方）に対する支持的・受容的風土を醸成
④　学習活動における「表現すること」や「かかわり合い」に対する形成的評価を実施

ここがポイント！

コミュニケーションを図ることにより、互いに自分の思いや考えを伝え合うことが可能となり、それらを共有したり質的に高めたりすることができる。

知的なコミュニケーションは、「表現すること」によって支えられ、また、知的なコミュニケーションを通して表現の質が高められ、相互にかかわりあいながら学習を充実させることにつながる。

(3)「地域や伝統・文化をふまえた教育の推進」の視点から

身近な事象を扱い、事象を数理的に考察し表現する活動に対する内発的動機付けを図る